

●事例紹介● よこせと海辺のにぎわい市



横浜瀬戸地区では、毎年5月に「よこせと海辺のにぎわい市」を、地元の灘漁港を会場として開催しています。

この催しは、地域の人々が「にぎわい市」を通じて灘漁港を賑わいのある交流の場にしたい、さらに漁港周辺や浦戸湾にもっと目を向けてもらい環境整備を一緒に考えたい、という思いで平成14年度に立ち上げ、毎年6千人以上の方が集まり楽しむ一大イベントになりました。

準備や運営は、地域の人々により組織された実行委員会が担っており、漁協・まちづくり推進市民会議・町内会・体育会・PTA・学校・福祉施設・企業などの団体が連携・協力して、それぞれの役割を分担しています。



大勢の参加者に楽しんでもらえるように企画には毎年工夫を凝らしていますが、運営スタッフも楽しめるように交代で自由な時間帯を作るなど体制づくりにも配慮をし、参加者も運営スタッフも楽しんで参加団体にもメリットのある催しを心がけています。

この「にぎわい市」の開催は、当初の目的である灘漁港周辺の環境美化や賑わいの場づくりに大きな成果があり、また地域全体のイベントとして参加団体の交流やつながりの促進にも大きな効果をもたらしています。



これでバッチリ！ まちづくり「連携の巻」

私たち見守り委員会では、どうすれば地域の課題を上手に解決できるだろうかと話し合ってきました。

そして、個人間での協力も大切ですが、地域の団体同士が連携することや行政とのパートナーシップを進めることで、さらにまちづくりの輪が広がり、効果的に課題の解決ができるのではないかと考え、『連携』というテーマでヒント集を作りました。

何で、連携をするが。

地域に課題があれば、自分達で解決する。それはとても大切な事です。

でも、自分達だけでは困難な課題やつらいケースもあります。そこで、連携して取り組むことでうまく解決できたり、また楽しく取り組むことができるかもしれません。

そう、課題解決には“連携”が必要です。また、仲間がいればチカラ倍増！

さあ手をつないでみませんか。

きっとそこには、新しいまちづくりが待っています。



～高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例～

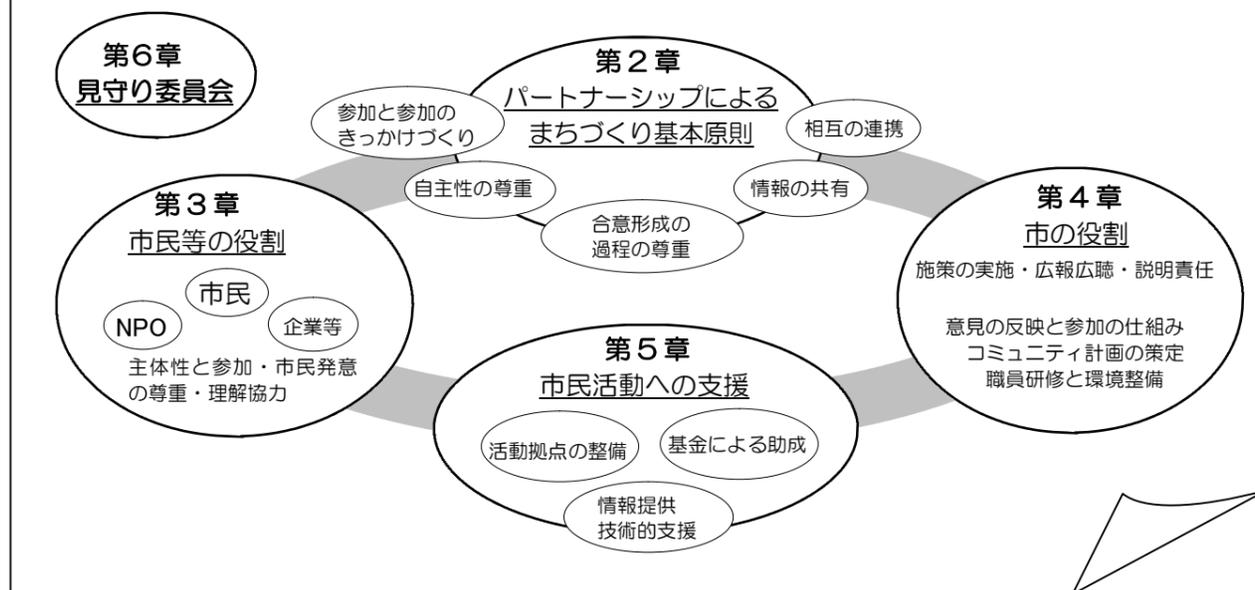
第2章 パートナーシップによるまちづくり基本原則

第7条 市民等及び市は、相互に連携するとともに、国、県等の行政機関及び教育機関その他関係機関とも連携してまちづくりを進めるよう努めるものとする。

※ 高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例より関連条項抜粋

高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例見守り委員会

高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例



第3期条例見守り委員 (H20. 5～H22. 4)

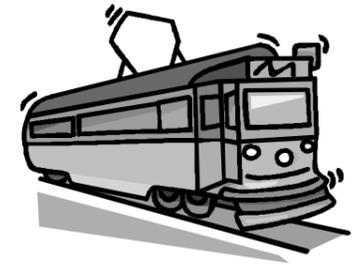
- | | | | | | | | |
|-----|--------|-------|--------|--------|--------|-------|--|
| 委員長 | 神崎 健史 | 副委員長 | 山崎 水紀夫 | | | | |
| 委員 | 井上 八州彦 | 内田 洋子 | 岡田 法生 | 笠井 博文 | 木下 くみ子 | 国沢 光陽 | |
| | 田中 美紀 | 中嶋 澄恵 | 野崎 英明 | 弘瀬 百合恵 | 宮田 玲子 | 漁師 政子 | |

【編集・発行】 高知市市民と行政のパートナーシップのまちづくり条例第3期見守り委員会

【発行日】 平成22年3月



まちづくり連携の輪



スタート
もっと地域を
楽しくしたい
良くしたい!

何をしたら
えいが?

終わった後、もっと
仲良くなれるろうか?

ホントに必要なが
やろうか?

どこ関わった
らえいろう?

連携キーワード

1. 助け合い
2. 力を出し合う
3. 楽しさ!!
4. 相乗効果
5. 広がり

形にする“千カラ”
(企画)

どこかと一緒に
やりたいねえ

紹介して
もらおう!

高知市
市民活動
サポートセンター

住所：高知市鷹匠町2丁目1-43
高知市たかじょう庁舎2階
TEL/820-1540

ワンポイントアドバイスぜよ

高知市市民活動

サポートセンターが

相談にのってくれるさね!

自分のこと
ばかり言わんと、
相手のことを
知ろう!

相手がわかる
言葉で伝えよう!
(熱い想いとクールな頭)

相手にとっても
“うれしい”
ことを見い出
そう!

お互いの立場や
目的の違いがあ
れば、きちんと把
握しよう!

つながる“千カラ”
(連携)

・町内会・・・・企業・・・・管理組合(分譲マンション)・・・・


まちづくり 一緒にやろうや!

・NPO・・・・市民団体・・・・行政・・・・学校・・・・

お互いが仲良
なっただねえ

次に
つながったねえ

大成功!

味わう“千カラ”
(評価)

楽しむ“千カラ”
(実行)

活動の成果を共有
し、喜びを倍増させ
よう!

反省点はその
ままにせず、
何が原因か確
かめておこう

目標が達成でき
たか冷静に確か
めよう

役割をこなしながら、
“楽しむ”オーラを出
し続けよう!

役割をこなす

千カラの配分は
「準備8割、本番2割」
準備を丁寧にしよう!

リスクも想定
して準備しよう

連携のご誓文

- 一 活動の目標を確認しよう
- 二 まちづくりの課題を共有しよう
- 三 お互いがこの活動で得たい事を共有しよう
- 四 都合の良い情報だけでなく、リスク情報も共有しよう
- 五 お互いに活動のイメージを共有しよう

連携のご法度

- 一 自分のやり方を押しつける
- 二 調整能力がない
- 三 しんどいから連携したい
- 四 お金にこだわる連携
- 五 お互いが信用できない